

令和3年度

関市総合教育会議

会議録

(令和3年12月16日)

関市

令和3年度関市総合教育会議

1 日 時

開会 令和3年12月16日(木) 午後4時00分

閉会 令和3年12月16日(木) 午後5時05分

2 場 所

関市役所 3階 庁議室

3 構成員で出席した者

市長	尾 関 健 治
教育長	森 正 昭
教育長職務代理者	西 部 美 晴
教育委員	足 立 司 郎
教育委員	清 水 徹 子
教育委員	末 松 桂 子

4 説明のために出席した者

教育委員会事務局長	三 輪 之
教育総務課長(会議録書記)	後 藤 勝 巳
学校教育課長	山 田 茂 樹
関商工高等学校事務長	中 村 進
緑ヶ丘中学校長	山 田 真 吾

5 出席した事務局職員

教育総務課課長補佐	廣 瀬 正 則
-----------	---------

6 傍聴者

なし

7 協議事項

- (1) 関市中学校制服変更「夢プロジェクト」について
- (2) 第2期関市教育振興計画(案)について
- (3) その他

議事内容(概要)

○三輪教育委員会事務局長

定刻となりましたので、ただいまから令和3年度関市総合教育会議を開催いたします。はじめに、尾関市長からごあいさつを申し上げます。

○尾関市長

皆さま、改めましてこんにちは。

日頃から教育委員会の皆さま、また教育委員の皆さまには、関市の子どもたちのためにいろいろなご意見を賜って、またご指導いただいていることをまずもって感謝を申し上げたいと思います。

ご承知のとおり、本日の岐阜県のコロナ感染者は1名と聞いております。今のところ比較的落ち着いている状況が続いていて、皆さまにとっても子どもたちにとっても良い時期だと思っております。

先ほど、文化会館の前を車で通りましたら、桜ヶ丘中の合唱祭ということで、赤いバスが止まり駐車場にも多くの車が止まり、今はこういうことができるようになったんだと本当にうれしく思いました。

これまで通常ですと、小中学校、保育園をふらふらとアポなしで訪問させていただいていました。コロナの影響で控えていましたが、先週くらいから各小中学校を訪問しています。先日も緑ヶ丘中学校を訪問させていただきました。校長先生からお話を伺いながら、子どもたちの様子を見させてもらっています。どの学校も子どもたちが落ち着いて授業を受けている様子が一番印象に残っています。ただ、いろいろなところでお話を伺うと関市全体では、不登校の子どもが昨年度より増えていることなども聞いておりますので、欠席日数が多い子も含めて課題はあると感じているところです。まだ、3分の1強しか訪問できておりませんので、今年中に全部行けるかどうかわかりませんが、現場をみて私も把握に努めたいと思います。

本日ですが、次第にありますとおり、中学校の制服についてと教育振興計画（案）についてですが、情報を共有しながら、皆さまからご意見を賜りたいという機会でございます。

有意義な時間になることを冒頭に申し上げて、私からのごあいさつとさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

○三輪教育委員会事務局長

ありがとうございました。この会議の進行でございますが、この会議は市長が主宰し行うこととなっておりますので、以降の進行は尾関市長にお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

○尾関市長

それでは、次第に従いまして、協議事項に移ります。

最初に（1）「関市中学校制服変更「夢プロジェクト」について」を議題といたします。それでは、事務局から説明をお願いいたします。

○山田緑ヶ丘中学校長

（モニターテレビにプレゼンテーション資料を写して説明）

令和5年度から関市内全9中学校の制服を変更するにあたりまして、中学校長会を中心に協議会を組織して取り組んでいるところでございます。協議会を代表して、これまでの進捗状況についてご説明をさせていただきます。

1 番をご覧ください。本取組のコンセプトについてです。

性差を感じさせない制服に変更することは、単に生活のきまりを変えることではありません。自分の性に違和感を持つ生徒が、悲しい思いをすることなく、自分の気持ちに合った制服を着ることができる、そしてそれを周りの誰もが受け入れて、互いに人格と個性を尊重し合い、支え合い、自分らしく生きることを認め合う、そこにいる誰もが夢をもって笑顔で明るく生活できる学校でありたい、そんな願いから「夢プロジェクト」と名付けております。そのために、制服デザインを通して集団の一員として問題を適切に判断して、対処することができる力を育てる社会的側面、性の多様性を理解して、自己の性に対する認識に自信をもてるようにする生理的側面、そして、差別・偏見をなくし、いじめ0を目指した豊かな人間関係を築くことができる力を育てる心理的側面の3つの側面から取り組んでいます。

推進組織としては、協議会の他、3つの取組目標にかかる部会を設置しまして、連携を図りつつ一体的に進めているところです。また、各学校においては、保護者の同意を得て円滑に取り組むことができるよう、PTA組織等との連携を十分に図るようしております。

続いて、2番をご覧ください。選択導入のイメージを表にしました。

実際の変更は、令和5年度から「選択導入」という形になります。令和5年度の1年生から新規購入に当たっては、新制服を中心にというように段階的に進めていきますので、令和7年度までは、スタイルの選択はもとより、各学年内においても旧制服と新制服が混在することになります。

次に、3番をご覧ください。

小中学校における多様性を互いに理解し尊重する教育の一環として、「性差を感じさせない制服」へ変更する学校は、全国的にも増加傾向にあります。実際には市内の児童生徒の状況について触れておきたいと思っております。

今年7月に市内全小中学校を対象に、性同一性障害または性別違和感を持つことに対する対応状況について調査をしました。性同一性障害等に係る教育相談件数ですので、児童生徒数ではないことにご留意をお願いします。また、性同一性障害とは、医師の診断を医学的知見に基づき行う診断が2人以上の医師にみとめられているというのが、定義になっていますが、この調査では医師の診断を受けていない場合も含んでいることにご留意いただきたいと思います。

平成31年度からの3年間で、性同一性障害に関する相談件数は、児童生徒、保護者併せて8件、性別違和感を持つことに関しても同じく8件ございました。小中の内訳はご覧のグラフのとおりです。

相談内容につきましては、小中ともに制服に関連することが多く、小学校の段階から中学校生活への不安や心配を抱えています。日常的な生活様式に係る環境の整備を充実する中で、制服に関する配慮の必要性が見てとれます。

4番をご覧ください。

制服変更への意向等について7月にアンケート調査を行いました。スタイルについては、ブレザー・ボトム型が上下同色同デザインのスーツ型よ

り多い結果でございました。また、従来からの移行「Ⅰ型・Ⅱ型」の選択が多くある中で、すっきりブレザーにスラックスという、いわゆる第3の制服の希望が、抵抗感、防寒等の理由から18%程あり、新しいスタイルの導入の意義がここでも認められると感じております。

実際の着用は、ブレザーが2タイプ「すっきり」「ゆったり」、スラックスは「すっきりめ」と「ゆったりめ」又はスカートで、上2つ下3つを自由に組み合わせて選択することになります。

素材・機能につきましては、児童生徒、保護者ともに「着心地」「断熱性や保温性」が多く選ばれておりました。児童生徒は「動きやすさ」、保護者は「家庭で洗濯ができる」ことが多く選ばれました。

供給・販売体制につきましては、「どの販売店でも品質の差がない制服を取り扱うこと」、次いで「より安い価格の販売店で購入したい」「多くの販売店での取扱ってほしい」の順となりました。

これら「素材・機能」面、「同品質」「安価」「販売店の拡大」の販売体制について、制服メーカーを選定する際の審査基準に反映いたしました。

5番をご覧ください。

こうした審査基準のもとに、10月8日(金)、制服及び制服メーカーを選定する企画提案コンペティションを実施しました。大手メーカーである菅公学生服、トンボ学生服、富士ヨット学生服の制服メーカー3社の応募がありまして、それぞれから2スタイルずつ提出された企画提案書、計6スタイルについてプレゼンテーションを受けました。中学校長及び各学校のPTA会長からなる選定委員会で、品質、機能性、耐久性、価格、利便性、そして企業力等を評価項目として厳正に審査しました結果、「株式会社明石スクールユニフォームカンパニー(富士ヨット学生制服)」の提案プランに決定しました。

商品の展開としては、保護者からの要望にもありましたように、スタンダードタイプその他、素材や機能によって価格の異なるエコノミータイプやフルスペックタイプを選択して購入できるように、3タイプのラインアップを用意する予定です。また、利便性向上のため、従来の各校区の取扱販売店に、「マーゴ」「ベイシア」などの新たな取扱店舗も増やしていく予定でございます。

なお、選定メーカーについては、5年ごとに見直しを図っていく予定でおります。

続いて6番をご覧ください。

制服メーカーによる制服が決定して、現在は、メーカーと協議しつつ、スラックス・スカートの柄、デザインを選定しているところです。コンペの際に提案されましたメーカーによるデザインに限らず、関市の新制服は、新制服制定の趣旨や関市の中学生に相応しいコンセプトのもとに、清楚感、清潔感、上品感があり、フォーマルな服装としても対応可能なもの、市内高等学校の制服と重ならないように、生徒や保護者、地域の方々から長く愛されるものを選んでいきたいと考えました。

そこで、コンペで提案されたデザインのほかに、関市の色である「わかくさ色」に、各学校のスクールカラーを取り入れた関市のオリジナルデザ

インを協議会からメーカー側に提案しまして、これも加えた3つのデザインから最も良いものを、児童生徒、保護者、教職員、学校関係者、そして広く市民の皆さんにも投票いただいて決定していきたいと思っています。

現在、メーカーでサンプルを製作中ございまして、来年1月中旬から1ヶ月間、関市役所にもできれば展示させていただいたり、小中学校に展示したりして、投票を受け付けたいと考えております。その結果により、市内9中学校の共通デザイン制服を2月末日までに決定する予定です。

7番をご覧ください。

これまでの制服メーカー・デザインの選定の取組と同時に、心理的側面の取組である豊かな人間関係づくりについても進めています。今年度の世界人権デー、また岐阜県ひびきあいの日の取組の一環として、性の多様性の理解や誰もが夢や希望をもって生活できる温かい人間関係づくりを目指した生徒会活動等にも取り組んでいます。

本校では、7月の制服意向等アンケート結果を活用しまして、性別違和感を持つ仲間の悩みや苦しみを分かり合うこと、また、近年LGBTQに代わって言われるようになってきているSOGIの理解、それらをもとに、仲間に対する見方や考え方の課題を全校で共有し、その解決策を生徒集会で話し合い解決策を見出しながら、合唱発表会への取組で実践していく活動を行いました。昨日の合唱発表会では、個性や考え方などが異なっても、同じ学級の仲間であること、その良さを合唱のハーモニーとして響かせ合うことができたと思っております。ちなみに本校で言いますと、1年生2名、2年生1名、3年生1名の計4名が、性別は女子の生徒が詰襟・スラックスの学生服を着て合唱を行いました。そのことに対して、周りの仲間も受け入れていますし、見ている他の仲間も違和感なく同じ学級の仲間として、合唱を真剣に聞くことができました。

こうした各学校の取組を情報収集しまして、差別や偏見をなくすことやいじめ0を目指した実践事例に、性の多様性の理解も取り入れて、来年度中に、各学校で活用できる関市としての指導プログラムを、プロジェクトチームで作成していきたいと考えています。

最後に、8番をご覧ください。

これからのロードマップを示しました。先ほどご説明しましたように、2月末日までに共通デザインを決定した後は、学校ごとに、スクールカラーを生かしてネクタイ・リボン・エンブレムなどのオリジナルデザインの選定に入ります。年度をまたいでしまいますが、現3年生の母校への思いも取り入れながら、デザイン募集や投票等の方法を工夫して、5月には決定までもっていききたいと思います。その後、見本案を展示しながら、広くご意見を伺い、8月にはデザインの決定、9月から新制服の展示、新年からは採寸・購入につなげていく予定です。

以上、令和5年の新制服導入までの道のりは、期間は短いものの、作業としては、まだまだ数多くのプロセスを経なければなりません。

市内すべての中学生が、予測不可能な未来であっても、夢をもって明るく、しなやかに生き抜く力を身に付けることができる、その象徴となるような新制服の制作に取り組んでまいります。

皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○尾関市長

山田校長先生ありがとうございました。それでは、ただいまご説明をいただきましたので、質疑やご意見等をいただきたいと思います。

○末松教育委員

わかりやすいご説明ありがとうございました。前回から今日までの短い間に取り組み、ご苦労がたくさんあったのではないかと思います。

一人ひとり子どもは違いますし、家庭も1軒1軒経済状況等違う中で、選択できるタイプがあり配慮があつてとても良いと思いました。

関市はLGBTフレンドリー宣言をしていますし、心理的な側面からも子どもたちの人権にかかわる学習は大事だと思いますので、PTAなど保護者の方へも理解を深める機会を設けて、1つの良いきっかけにしたいと思いました。

市役所などで展示してもらって、直接触ってみたいと思いました。

○西部教育委員

去年小中学校でアンケート調査が実施されたので、保護者の中では、いつから制服が変わるだろうとざわざわしていましたが、変更について嫌だという意見は聞いていないので、保護者も受け入れていると思います。どんなデザインになるんだろうという期待はすごく感じています。実際に展示されるのを楽しみにしています。

息子が中学生なので、音楽発表会を聞かせていただいて、女の子が詰襟の制服を着ていたり、マスクもしている子としていない子がいて、息子に聞いたら任意とのことで、小さなことから自分で決めて良いという多様性、どんなことでも受け入れるという選択できる環境が整えられているんだと感じました。

女の子が詰襟の制服を着ていましたが、気持ちも男の子で制服を着たいのか、スカートが嫌でスラックスをはいているのかわかりづらくて、外見だけではなかなか難しいため、いらない勘違いで逆に傷つくのではないかと心配しますが、着る子が増えてくれば、誤解や関心をひきつけることはなくなるので、すごく良いプロジェクトだと思います。

個人的には、今までは同姓しかお下がりできなかったのが、新制服では、男女問わずお下がりも可能なので、来年再来年を楽しみに待ちたいと思います。

○清水教育委員

女子が、スカートかスラックスの選択ですか。

○山田緑ヶ丘中学校長

それが多いと思いますが、性別が男子でスカートをはきたい子がいればそれは認めていくことになると思います。

○清水教育委員

性別の違う新制服を着用する生徒が、少ない場合は、違和感が生まれるのではないかと心配です。また、販売価格は今の制服に比べて、どうなりますか。

○山田緑ヶ丘中学校長

差別が生まれまいかということですが、心理的側面、生理的側面を同時に進めていきます。たとえ一人だけであってもそれが通らないとこの取組は意味がないと思っています。S O G I の考え方にたてば、自分がどう感じているかという理解を進めていく必要があるかなと思っています。

販売価格については、コンペの仕様書の中に現行価格を上回らないことを条件にしています。3タイプにネクタイ・リボンが込みです。現行のものは38,000円くらいだと思います。

コロナ前から、ジャージでの登下校している学校のために、値段を抑えたエコノミータイプを用意したり、これまでどおり、常時制服を着る学校では、少々汚れてもシャワーをかければ汚れが落ちたり、防カビなどの機能が付いたフルスペックタイプを準備したところです。

○足立教育委員

一番印象に残ったのは、緑ヶ丘中の生徒会長の言葉にあるように正しい知識をもって、自分のこととして考えることが大事だと思いました。

私の生徒の中にもホルモン注射を打って、体調をくずし苦しんでいた子がいたので、あの時このような状況があればよかったのにと思いました。また周りが、このことについて、自分がそうだったらという気持ちで物事に当たっていたら、理解を深めていたら、あの子もそんなに苦しまずに済んだのではないかと振り返りながら聞いていました。

生徒たちは、理解しようとしていると思うし仲間を認めよう、広めていこうとする動きができやすいが、大人がどう受け止めているかというところが大事です。大人の目が、子どもたちを孤立化させることにつながっていきやすいので、各学校から保護者の方々にも広めていただければ、子どもたちも安心して学校に通えるのではないかと思います。

○森教育長

一番は、制服を変えるだけでなく、教育活動全体を通して取り組んでいただいているので、大変ありがたく思っています。

先ほどもご意見がありましたが、ぜひどの学校でも保護者や地域にも単に制服を変えるだけではないことを広めていただきたいと思います。

市内全域で購入しやすいように販売所を増やしていただいていますし、機能面も科学的な配慮がされていますので、中学校校長会が中心となって取り組んでいただいた成果だと思います。

市内であれば転校してもネクタイ・エンブレムを交換すれば制服は使用可能になります。楽しみにしています。ありがとうございます。

○尾関市長

今お話ありましたとおり、山田校長先生はじめ、中学校の各先生方が全体的な取り組みとして進めていただいておりますので、私からも感謝を申し上げます。

プレッシャーをかけるわけではないですが、私自身も楽しみにしています。今後ともよろしくお願いいたします。

では、そのほかにご意見等ございませんか。

なければ、「関市中学校制服変更「夢プロジェクト」について」を終了します。

次に（２）「第２期関市教育振興計画（案）について」を議題とします。それでは、事務局から説明をお願いします。

○後藤教育総務課長

（モニターテレビにプレゼンテーション資料を写して説明）

お手元にお配りしています資料に沿ってご説明申し上げます。

今年度末をもちまして、現在の第１期教育振興計画の終了に当たりまして、令和４年度から１０年間の計画を今年度策定しているものでございます。

計画の位置づけでございます。

この計画の位置づけは、上位計画である「関市第５次総合計画」の施策の一つである「明日を担う「人」を育てる（教育）」を実現するための分野別の計画として位置づけています。また、本計画は学校教育に焦点を当てた計画としています。

基本理念でございます。

「ふるさと関に誇りをもち 豊かな心で 未来を切り拓く 人づくり」こちらのテーマにつきましては、策定委員会でも随分議論されたところでございます。いろいろご意見をいただきましてこのように設定させていただきました。

関市民一人ひとりが、グローバルな視野を持ちながら、ふるさとの伝統、文化を学び、ふるさと関を誇りに持って地域や社会に貢献できる、持続可能な社会の創り手となってほしいという想いを込めたものとしています。

計画期間については、来年度、令和４年度から１３年度までの向こう１０年間としています。中間年度である令和８年度に見直しを行うこととしています。

２ページをお願いします。基本方針でございます。

基本理念の実現に向けまして、４つの基本方針を定めています。

基本方針１としまして、「多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける教育の実現」

２番目といたしまして、「個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける教育の実現」

３番といたしまして、「ふるさと教育や地域との関わりを通して、社会性を身に付ける教育の実現」

そして最後４番、こちらは関商工高等学校に関することですが、「地域

や他校種との連携を通して、専門性の高い教育の実現」

なお、今回、策定委員の方から持続可能な開発目標（SDGs）の考えを、取り入れてほしいという意見がございましたので、各基本方針の箇所にも、各目標のロゴ、アイコンを表示させていただいています。

3ページをお願いします。計画の体系でございます。

基本理念の下に4つの基本方針があり、基本方針の実現に向けまして14の基本施策があり、その下の具体的な施策に取り組むこととしています。

○山田学校教育課長

それでは、4ページの施策の展開についての概要を、基本方針1～3までを説明させていただきます。

まず、基本方針1の「多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける教育の実現」です。先ほどの制服の性の多様性を含めて、特別支援教育や不登校児童生徒・外国人児童生徒等、「多様なニーズに対応した教育機会の提供」をします。なかでも、特別支援学級や通級指導教室の児童生徒が今後も激増する見込みであることから、教職員の指導力向上及び適任者の配置が求められます。そこで、昨年度から特別支援教育の拠点指導員を3～5校に1名ずつ配置して教職員の指導力の向上を図ったり、通級指導教室のニーズがあるのに県費教職員が配置されていない学校へ市費の教職員を配置し通級指導教室を開設したりする対応を継続していきます。

また、いじめ撲滅を含めた道徳教育・人権教育の充実を図るなどの「豊かな心の育成」や、不登校児童生徒への対応として子ども家庭課等との連携を強化したり、心理士によるWISC検査等を拡充したりします。

続いて、基本方針2の「個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける教育の実現」です。今年度、一人一台タブレットの導入や電子黒板の導入により、小中学校の授業もずいぶん変わりつつあり、今後もその可能性が期待されているところです。今後は、タブレット等のICT機器をツールとして、子どもの多様な能力・適性、興味・関心、学習経験等に応じた学習に取り組むことができる「個別最適な学び」の推進と、一方、子ども同士や地域の方々など多様な他者と協働しながら個性を生かし合う「協働的な学び」が一層求められます。そのためにもICT支援員の配置や教職員のニーズに応じた研修などを充実させていきます。

続いて、基本方針3の「ふるさと教育や地域との関わりを通して、社会性を身に付ける教育の実現」です。ふるさと教育の目的は、ふるさとに愛着と誇りをもつことで自己肯定感を持たせることと捉え、単に体験学習に留まることなく、学習ガイドブック等を活用し、指導の内容を更に工夫・改善していきます。

また、「地域に開かれた学校づくり」として、寺子屋事業と学校運営協議会をうまく連携させ、それぞれが充実した活動になることを目指していきます。

6ページをお願いします。これらの評価をどのようにするのか、主な目標値の設定です。

毎年実施しています全国学力学習状況調査の質問等で数値目標を設定

してみました。例えば、基本方針1、基本施策1の「多様なニーズに対応した教育機会の提供」については、友達と協力するのは「楽しい」という児童生徒の割合を数値ではかります。

基本施策2の「豊かな心の育成」については、いじめについては、3番目の教育相談については、学校へ行くのは「楽しい」という児童生徒、そして基本方針3のふるさと教育の充実では、自分には「よいところがある」という児童生徒の割合を数値で評価をはかっていきたいと考えております。

○中村関商工高等学校事務長

基本方針4の「地域や他校種との連携を通して、専門性の高い教育の実現」ということで、主に関商工の教育についてご説明いたします。

基本施策1としまして、「地域社会人の育成」です。地域や社会に貢献する人材を育成します。インターンシップの拡充や企業とのコラボレーションによる商品開発や販売を通して、自ら考え、行動する力を育てる機会を設け、より実践的な学びとしていきたいと思っております。これは、地域の活性化にも貢献できるものと思っております。これらの施策により、生徒は地域を知り愛着を持つことにより地元の就職につながる取り組みにしていきたいと思っております。

続きまして、「専門教育の推進」です。資格の取得やコンテストや大会への積極的な参加を通して、課題解決能力や技術力、自己実現力の向上を図ってきたいと思っております。

また、地域の大学や専門学校、地元の企業との交流や出前授業等を通じて、学びの場を広げていきたいと思っております。

続きまして、「部活動の充実」です。部活動を通して、スポーツや文化・芸術に親しみ、生徒一人ひとりが持つ可能性を伸ばす機会を提供していきたいと思っております。また、主体性と協調性を身に付けていく場としていきたいと思っております。課題としましては、指導者の不足、教員の働き方改革などの課題があります。指導者育成や地域と学校が協働・融合した部活動の体制づくりを行ってきたいと思っております。

目標値の設定ですが、地元企業に就職する割合を増やしていきたいと思っております。商業工業の様々な資格の取得の割合を増やしていきたいと思っております。部活動については、ほとんどの生徒が加入していますが、引き続き部活動を通して、自己実現にむかっていってほしいと思っております。

○後藤教育総務課長

8ページをお願いします。

推進体制でございます。横断的な連携、関係団体等との連携、情報発信・収集を推進していくものでございます。

そして、点検評価としまして、PDCAサイクル、マネジメントサイクルを実行し、計画の進行管理を行うこととしております。

○尾関市長

ありがとうございました。それでは、ただいま説明が終わりましたので、

質疑やご意見等をいただきたいと思います。

○足立教育委員

これから通級指導教室への通級が増えていく可能性が高いと感じています。私も新入学する方の相談を受けたことがあります。強化していただくことは大事なことだと思います。

質問ですが、これらに携わる先生方、わかあゆ、スクールカウンセラーの方などは、家庭訪問はできますか。

○山田学校教育課長

家庭訪問については、担任や常勤講師である県のスクール相談員はできますが、非常勤講師である心の相談員はできません。

○足立教育委員

不登校になった子が学校へ出てくるには、学校の先生や友達とのつながりが大きいと思ったので、家庭訪問をしてできるだけ外へ出していく、社会との接点を作っていく必要があるかなと思っています。そこで、カウンセラーが家庭訪問をできる機会を増やしていただけると良いと思います。

また、関市で育って他県他市へ進学した子たちが、Uターンして戻ってきて地元を高めていってくれるような何か施策ができないかと思っていますが、学生たちは、外へ出るとなかなか戻ってこなくなり市の人口減少につながっていると思いますので、何か教育振興と結びつけられると良いと思いました。

○清水教育委員

先月、愛知県で中学生による殺人事件や北海道でいじめを苦に自殺した事件など、新聞やテレビで報道されていますが、学校からのいじめの報告が遅れて、後手後手の対応となり、教育委員会に報告が上がらないことが多いようですが、人の命に係わる重大な問題ですので、早めに報告をして早めに対策をとれば、そこまでひどくならないと思いますので、いじめ撲滅の取り組みの充実は、徹底していただきたいです。

また、不登校や引きこもりの問題で、親が元気なうちは良いですが、8050問題で親がいなくなったらどうしようもないので、給食を食べに行くだけでも学校へ行って社会生活ができて、働けるようになることが大切だと思います。

○西部教育委員

特別支援学級や通級指導教室に通う子が今後増えてくる状況で、今、市費で心の相談員とか特別支援アシスタントを配置してくださっていますが、ますます充実が必要になってくるだろうと思いました。私は、理学療法士として病院で働いていますが、作業療法士とか専門的な人員の配置が必要になってくるのかなと思っています。飛騨市がいろいろ取り組まれていることも知っているのですが、そういう面も充実していただけるとより良いの

かなと感じました。

私事ですが、先月息子が学校へ数日行けなくなりました。月曜日とか私
が休みの日に限って、おなかが痛い、熱がある、なんだか行きたくないと
言うので、このまま不登校が続いたら私は仕事をどうしたらいいだろうと
か、いつまで続くんだろうかということをもっと体験しました。無理
やり行かせた方がよいのか、優しく休んでいいよと言うのか迷った時期が
あって、担任の先生もすごく親身に話を聞いてくださって一つ一つ解決で
きて、今は通えています。不登校になる理由は、人それぞれだと思います
が、一番はじめになりそうな時期に親がどう対応するべきかということが、
なかなかわからないと思ったので、子のサポートはもちろんですが、どの
子でもなる可能性はあるので、保護者に教えていただける支援策や情報を
発信していただくと良いと思いました。

今年度に導入された関市の i P a d は、キーボード付きでカバーもあつて、他市と比べてもすごく充実していると思います。保護者が予想していたよりも子どもたちの学習の中に溶け込んでいて、持っていくのが当たり前、授業で使うのが当たり前、宿題もリコーダーの演奏を録画して先生に送るなど、一気に身近に入ってきて、ユーチューブをみるとか視力の問題とか心配しましたが、少しずつ親として良い方向に受け入れています。今後どのように活用されていくのか期待する部分ですので、引き続き I C T 支援員の配置も進めていただくと助かります。

○末松教育委員

3つの言葉、ふるさと・多様性・持続可能なというワードが心に残りました。自分たちが暮らしている関のことを子どもたちがよく知って、誇りに思う。もちろん外へ行って帰ってきてくれれば、一番理想だと思いますが、たとえ別の土地に住んでも、自分の心の中に思い続けるふるさとを大事にしたいと思いますし、大事にさせたいと思いました。子どもたちを取り巻く私たち大人もふるさとを大事にしていかなければならないと感じました。

多様性については、特別支援に関わる指導員の配置、関市版の通級指導教室では、私が勤めていた学校で開いていただいて、子どもたちが生き生きと丁寧に向き合って自分がわかる体験ができる、これが素晴らしいと思いました。大変手厚くしていただいているので、現場の先生はもちろん子どもたちの居場所があつて支えられていると感じています。引き続き大事にできたら良いと思います。

I C T 支援員の配置のことも同様ですが、お金ことや人員確保など大変なご苦労があると思いますが、大事にさせていただきたいと思います。

持続可能については、職員と保護者は変わりますが、地域は変わらないので、その良さを引き継いでいくためには、ふるさと教育や地域との関わりを大切にしていく。寺子屋事業やコミュニティスクールもそうですが、地域に子どもの居場所をつくって、学校教育の中に地域の力を入れて大事にすることが、人が入れ代わってもその学校や市が大事にしている教育をつないでいける事ではないかと思っています。

○森教育長

いじめの報告をすばやくという話がありましたが、まず初めに問題は、いじめと意識していない学校、からかいやいじり等の認識でスタートするとずれていく。からかい等からいじめに発展するので、その時点でどう対応するかしないかで大きく違ってくると思います。

不登校についても少し休みかけた時に、学校の先生が来てくれたり話してくれて解決したことがありました。また、3日連続して休んだ場合は、家庭訪問しろという言葉があるように、最初が肝心で誰かに話ができるような環境をつくるのが、とても大事だと思っています。

まなびセンターにスクールアテンダント、大学生のアルバイトを雇っていて、家庭訪問をしてもらえることがあって、昨年度では、部屋から出られない子が壁越しに話をし、次は、壁越しにゲームをして近づいて行ったという例もあります。先生や専門の方も良いですが、年の近い大学生が行くことも良い場合があります。

また、Uターンの話がありましたが、高校生と大学生の交流はありますが、大学生と中学生との交流はない。地元中学からの卒業生が、大学でどんな生活をしているのか、どんな思いで大学へ行ったのか、そういう機会があまりないので、可能であるなら寺子屋事業などでやれると良いと思いました。

○尾関市長

今後のスケジュールはどんな予定ですか。

○後藤教育総務課長

本日協議していただきました計画案を来年1月にパブリックコメントを実施して、広く市民の方などからご意見をいただきます。そして、3月の教育委員会会議で確認をしていただいて、決定していくという手続きになります。

○尾関市長

ほかに、ご意見等はございませんか。

なければ、「第2期関市教育振興計画（案）について」は終了します。

次に（3）「その他」でございしますが、折角の機会ですので、教育委員の皆さんからご意見ご質問等がございましたらいただきたいと思えます。

ご意見等も無いようですので、本日の協議事項は全て終了しました。ありがとうございました。

○三輪教育委員会事務局長

それでは、これをもちまして、令和3年度総合教育会議を閉会といたします。皆さまにはご協議をいただき、誠にありがとうございました。